



- 宮津市・南丹市・福知山市は、  
住民への説明や、住民説明会の開催を関電に求めました
- 関電の「安全対策」は、大地震で安全上重要な機器が壊れることは想定せず  
地震でクレーンが倒壊しても、安全上重要な機器の一系統しか壊れないように  
クレーンの配置を事前に考慮する？！
- 住民説明会を開き、関電に直接説明させるべきです
- 京都府に、地域協議会幹事会の傍聴を認めるよう要求しました

2017年5月11日 避難計画を案ずる関西連絡会

本日（5月11日）、京都府30キロ圏内の7市町の地域協議会幹事会でした。綾部市の総合庁舎で、午後2時～2時半まで、関電のクレーン事故等の対策についてです。

京都府は、当初傍聴を認めると市民に伝えましたが、その後これを翻しました。そのため、傍聴させるように最初に強く求めましたが、傍聴はできずロビーで待機となりました。午後2時からの開始と同時に、幹事会の資料（関電説明資料等）を受け取り、終了後に、京都府防災課長から幹事会の議論内容についてロビーのソファで説明を受けました。その速報です。

正式な議事録は、京都府のHPに出ます。前回4月7日幹事会の議事録は間もなくでとのことですが、遅すぎます。

京都府の原子力防災対策 <http://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/atom.html>

幹事会終了後に各市町の担当者などが部屋から出てきましたが、この間の申し入れで出会った職員の皆さんとも会いました。府の防災課長から説明を聞き、私たちとのやり取りは約30分間でした。以下に、速報でお知らせします。

今日の関電の説明で、高浜原発の再稼働について明確に反対の意見はなく、京都府は再稼働を容認しようとしています。関電が説明した「安全対策」には下記で示すように大きな問題があります。引き続き、再稼働反対と説明会を求めていきましょう。

宮津市・南丹市・福知山市からは、住民への説明や、住民説明会の開催を関電に求める発言もあったそうです。この間の申し入れで訴えてきたことも反映されました。

#### 【京都防災課長からの聞きとり等の内容】

- ◆関電が再発防止策について説明。
- ◆冒頭に、舞鶴市から、クレーン事故等の対策を議論している最中なのに、燃料装荷等が進められていることは遺憾、との発言があった。

◆関電の説明については、一定理解できる中身にはなってきた。実効性が確保できる体制作りができてきているのか？

→（関電）訓練を通じて実効性を高めたい

◆宮津市、南丹市、福知山市から、住民への説明や「住民説明会」をしっかりとってほしいと発言があった。他の各市町からも「住民が不安を持っている」との発言はあった。

→（関電）チラシ等の広報を通じて説明していく。住民説明会について要求があれば、実施するのはやぶさかではない。

◆各市町として、関電の対策はこれまでと比べると具体的中身になっている。これを首長に伝える。

◆綾部市からは、再稼働について、報道で17日等と言われて知っているだけだ。どうなっているのかとの質問。再稼働についての質問はこれのみ。

→（関電）高浜4号は5月17日を目標。3号は13日から燃料装荷の予定。

◆京都府のまとめ：関電の再発防止策等は一定具体化されたが、確実に実行できる手段・体制をとってもらうことを強く要望する。

府としては、今日の内容をまず知事に伝える。

◆関電の対策について、私たちが指摘した点

・「チェックが不十分だった」等々が書かれているが、高浜原発でクレーン事故、水漏れ事故、緊急停止を起こしたことについて、企業の社会的責任について触れていないことは根本的問題。

・今日の「地域協議会幹事会資料2」6ページでは、次のように書かれています。

「○なお、東日本大震災並みの大地震では、クレーン等が転倒、破損するリスクがある。この場合でも、原子力の安全機能は2つ以上の設備や機能を備えており、クレーン等の転倒、破損によって全ての安全機能が失われることのないよう、クレーン等の配置・使用を配慮している。」

これは、大地震でも、地震そのものによっては決して機器が壊れることはないこと、クレーンの倒壊によってしか機器が壊れる可能性はないことを前提にしているように読み取れます。

しかし、東日本震災並みの地震で少なくとも片方の機器が壊れることを前提にすべきです。その場合、どちらの機器が地震で故障するかはあらかじめ分かるはずがないのに、どうして同時故障が起こらないようにクレーンの配置を決めることができるのでしょうか。

いずれにせよ、このような説明では到底市民は納得できるものではありません。市民に対して、直接説明する場を設けて、考えていることを具体的に説明する場がどうしても必要だと考えます。

関電が地域協議会幹事会で示した「安全対策」は、勝手に都合のいい想定をしているだけです。こんな対策で、再稼働など許されません。

最後に、今後は傍聴を認めるよう、京都府防災課長に伝えました。